

- 予防. 思春期学 29, : 13-18, 2011
- 21) 宮永耕: 薬物依存者の回復における社会福祉援助の役割: 龍谷大学 矯正・保護研究センター研究年報 第7号 : p.99-111 : 2010
- 22) 山口みほ: 薬物依存症者の回復支援に関わる制度的社会資源の活用実態と課題. 医療社会福祉研究 19, 2011年3月
- 23) 和田 清: 特集薬物乱用 わが国の一般人口における薬物乱用・依存の実態. 公衆衛生 73(11) : 807-812, 2009.
- 24) 宮永耕: 自助グループ (第II部 各論-2. 精神障害別 11. 物質依存性障害) : 精神療法・心理社会療法ガイドライン (「精神科治療学」第24巻増刊号) : p. 249-251 : 星和書店 : 2009
- 25) 嶋根卓也, 和田清, 三島健一, 藤原道弘: 危険飲酒行動と薬物乱用リスクグループとの関連について—大学新生を対象とした調査より—. 日本 アルコール・薬物医学会雑誌. 44(6) : 649-658. 2009.
- 26) 嶋根卓也: 定時制高校に在籍する思春期のこころ, 思春期のこころと性「故意に自分の健康を害する」症候群 (編集 松本俊彦), 現在のエスプリ, ぎょうせい, 509, 39-52, 2009.
- 27) 嶋根卓也: 思春期における飲酒・薬物乱用の実態と予防について, 小児科医のための思春期医学・医療. 小児科, 50(11), 1923-29, 2009.
- 28) 松本俊彦, 今村扶美, 小林桜児, 千葉泰彦, 和田 清: 少年鑑別所における薬物再乱用防止教育ツールの開発とその効果—若年者用自習ワークブック「SMARPP-Jr.」—. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 44: 121-138, 2009
- 29) 松本俊彦, 今村扶美, 平林直次: 医療観察法における覚せい剤依存の心理社会的治療. 最新精神医学 14: 163-170, 2009
- 30) 松本俊彦, 和田 清: 薬物依存症の治療とリハビリテーション. 大阪保険医雑誌 509: 2009年5月号, 25-29, 2009
- 31) 松本俊彦, 今村扶美: 第2部 申し立てと鑑定 7. 医療観察法と物質使用障害: 臨床精神医学 38: 577-581, 2009
- 32) 松本俊彦: 薬物依存症の治療: 覚せい剤依存に対する統合的外来治療プログラムの試み. 日本アルコール精神医学会雑誌 16 (1): 11-18, 2009
- 33) 松本俊彦, 今村扶美: 物質依存を併存する触法精神障害者の治療の現状と課題. 精神科治療学 24: 1061-1067, 2009
- 34) 松本俊彦: 第II部 各論2, 精神障害別 11) 物質依存性障害 1. 認知行動療法. 精神科治療学 24 増刊号: 241-243, 2009
- 35) 松本俊彦: 薬物依存の寛解. 精神科 15 (5) : 453-458, 2009

3. 学会発表

- 1) 和田 清: わが国における薬物乱用・依存の最近の特徴. 第30回日本社会精神医学会. 奈良. 2011. 3. 4.
- 2) 和田 清: 日本における薬物乱用・依存の歴史と最近の特徴. 第1回日中薬物依存シンポジウム(2010). 千葉大学. 千葉大学付属図書館亥鼻分館ライブラリーホール. 2010. 11. 12.
- 3) Kiyoshi Wada: The Current Situation of Drug Abuse/Dependence in Japan. National Anti-drug Conference & Anti-drug International Seminar, Ministry of Justice, Taiwan. 2010. 6. 2.
- 4) 和田 清: 日本の薬物乱用状況の今日の特徴. 国際シンポジウム「社会階層と逸脱」青少年の非行と社会的関係の病理. 東北大学大学院文学研究科グローバルCOE「社会階層と不平等教育研究拠点」・台湾青少年犯罪抑制学会. 東北大学川内南キャンパス文学部第二教室. 2010. 1. 23.
- 5) 和田 清: 精神作用物質使用障害の今日の実態. 第105回日本精神神経学会学術総会. 神戸. 2009. 8. 22.
- 6) 松本俊彦: アルコール・薬物依存症と摂食障害との併存例をめぐって. シンポジウム 26「精神障害が併存するアルコール依存症の病態と治療」. 第106回日本精神神経学会学術総会, 2010. 5. 21, 広島.
- 7) 松本俊彦: 専門講座II 自傷行為の理解と援助～アディクションと自殺のあいだ. 第32回日本アルコール関連問題学会, 2010. 7. 16, 神戸
- 8) 宮田久嗣, 松本俊彦: 3学会合同シンポジウム1「“物質”と“物質によらない”嗜癖行動の共通点と差異: 問題提起」, 平成22年度アル

- コール・薬物関連学会合同学術総会, 2010. 10. 7, 小倉
- 9) 松本俊彦: 3学会合同シンポジウム4「物質使用障害と自傷・自殺～最近の研究から」, 平成22年度アルコール・薬物関連学会合同学術総会, 2010. 10. 7, 小倉
- 10) 松本俊彦: 嗜癮問題と自傷・自殺. シンポジウム「自殺予防と嗜癮」, 第21回日本嗜癮行動学会, 2010. 11. 21, 岡山衛生会館
- 11) 松本俊彦・小林桜児: ワークショップ19 薬物依存症の認知行動療法～マニュアルとワークブックにもとづく統合的外来治療プログラム. 第36回日本行動療法学会, 2010. 12. 4, 愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」.
- 12) 今村扶美, 松本俊彦, 千葉泰彦, 小林桜児, 和田清: 少年鑑別所における自習ワークブックを用いた薬物再乱用防止プログラムの開発とその効果～重症度による介入効果の検討～. 第6回日本司法精神医学会大会, 2010. 6. 4, 東京大学.
- 13) 今村扶美, 松本俊彦, 小林桜児, 平林直次, 和田清: 医療観察法指定入院医療機関における「物質使用障害治療プログラム」の開発とその効果. 第6回日本司法精神医学会大会, 2010. 6. 4, 東京大学.
- 14) 小林桜児, 今村扶美, 根岸典子, 若林朝子, 松本俊彦, 和田清: 国立精神・神経医療研究センター病院薬物専門外来受診者の臨床的特徴. 東京精神医学会第89回学術集会. 2010. 7. 10, 北里大学薬学部コンベンションホール.
- 15) 小林桜児, 松本俊彦, 千葉泰彦, 今村扶美, 森田展彰, 和田清: 少年鑑別所入所者を対象とした日本語版 SOCRATES の因子構造と妥当性の検討. 平成22年度アルコール・薬物関連学会合同学術総会, 2010. 10. 8, 小倉.
- 16) 今村扶美, 松本俊彦, 小林桜児, 和田清: 医療観察法指定入院医療機関における「物質使用障害治療プログラム」の開発とその効果. 平成22年度アルコール・薬物関連学会合同学術総会, 2010. 10. 8, 小倉.
- 17) 田中紀子, 矢澤祐史, 松本俊彦: 奈良ダルクによる新しいとりくみ: Recovery Dynamics Program 導入による効果観察. 平成22年度アルコール・薬物関連学会合同学術総会, 2010. 10. 8, 小倉.
- 18) 柴田幹良, 谷藤隆信, 福永龍繁: 監察医務院における薬毒物検査の実態. 第45回日本アルコール・薬物医学会. リーガロイヤルホテル小倉. 2010. 10. 7-9.
- 19) 柴田幹良, 谷藤隆信, 福永龍繁: 過去5年間(2005～2009年)の東京都監察医務院における薬物検出の実態. 第79回日本法医学会学術関東地方集会. 笹川記念会館. 2010. 10. 31.
- 20) 嶋根卓也: 若年者向け薬物再乱用防止プログラム”OPEN”の開発に関する研究. 第69回日本公衆衛生学会総会, 東京, 2010. 10. 27-29.
- 21) 和田清, 船田正彦: 最近のわが国の薬物乱用の特徴と依存性・神経毒性の評価. シンポジウムI「覚せい剤乱用と依存の社会医学的評価」. 第93次日本法医学会学術全国大会. 大阪千里ライフサイエンスセンター. 2009. 5. 14.
- 22) 和田清: 精神作用物質使用障害の今日の実態. シンポジウム27 精神作用物質使用障害の今日の実態. 第105回日本精神神経学会学術総会. 神戸国際会議場. 2009. 8. 23.
- 23) 和田清, 尾崎茂, 嶋根卓也: 薬物乱用・依存の今日の実態—有機溶剤、覚せい剤から脱法ドラッグ、リタリン、大麻等使用しても捕まらない薬物へのシフト—. 3学会合同シンポジウムI(JS1)「大麻乱用の諸問題」. 第44回日本アルコール・薬物医学会. 第21回日本アルコール精神医学会. 第12回ニコチン・薬物依存研究フォーラム. パシフィコ横浜. 2009. 9. 8.
- 24) 和田清: 日本の薬物乱用状況の今日の特徴. 国際シンポジウム「社会階層と逸脱」青少年の非行と社会的関係の病理. 東北大学大学院文学研究科グローバルCOE「社会階層と不平等教育研究拠点」・台湾青少年犯罪抑制学会. 東北大学川内南キャンパス文学部第二教室. 2010. 1. 23.
- 25) 尾崎茂, 和田清: 精神科医療施設における薬物関連精神疾患の最近の動向. 第44回日本アルコール・薬物医学会総会, 2009/9/9, パシフィコ横浜.
- 26) 宮永耕: 薬物依存者に対する回復援助資源の現状と課題—リハビリテーション施設の社会的機能と利用者の生活保護受給状況を中心に—: 日本社会福祉学会第57回全国大会: ポスターセッション6(歴史・制度): 2009(平成21)年10月11日: 法政大学多摩キャンパス

- 27) 松本俊彦, 小林桜児: 精神作用物質使用障害の今日的状況. シンポジウム 27. 第 105 回日本精神神経学会総会, 2009. 8. 23, 神戸国際会議場
- 28) 小林桜児, 松本俊彦: 大麻乱用者の臨床的特徴と外来治療への導入. 3学会合同シンポジウム I 「大麻乱用の諸問題」. 第 12 回ニコチン・薬物依存研究フォーラム, 2009. 9. 8, パシフィコ横浜
- 29) 松本俊彦: 医療観察法指定入院医療機関における認知行動療法の展開. シンポジウム II 「薬物依存症治療の新たな試み」. 第 44 回日本アルコール・薬物医学会総会, 2009. 9. 9, パシフィコ横浜
- 30) 松本俊彦: ワークショップ 新しい薬物依存症の治療～あなたにもできる SMARPP～. 第 17 回関西アルコール関連問題学会, 2009. 11. 7, ピアザ淡海
- 31) 松本俊彦, 今村扶美, 小林桜児, 千葉泰彦, 和田清: 少年鑑別所における薬物再乱用防止教育ツールの開発とその効果—若年者用自習ワークブック「SMARPP-Jr.」—. 第 5 回日本司法精神医学会総会, 前橋, 2009. 5. 16
- 32) 松本俊彦, 今村扶美, 小林桜児, 千葉泰彦, 和田清: 少年鑑別所における薬物再乱用防止教育ツールの開発とその効果. 第 44 回日本アルコール・薬物医学会総会, 2009. 9. 9, パシフィコ横浜
- 33) 小林桜児, 松本俊彦, 大槻正樹, 上条敦史, 長嶋努, 和田清: 覚せい剤依存患者に対する外来治療プログラム (Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program: SMARPP) の有効性. 第 44 回日本アルコール・薬物医学会総会, 2009. 9. 9, パシフィコ横浜

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)
なし

(別掲 4)

研究成果の刊行に関する一覧表

開発教材

研究分担者名	対象者	教材タイトル
近藤あゆみ	ファシリテーター	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム プログラムを実施する前に (ファシリテーター用マニュアル)
近藤あゆみ	ファシリテーター	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 薬物依存症とは 薬物依存症と回復 Vol.1 (ファシリテーター用マニュアル)
近藤あゆみ	家族	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 薬物依存症とは 薬物依存症と回復 Vol.1 (家族向け教材)
近藤あゆみ	ファシリテーター	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 上手なコミュニケーションで本人を治療につなげる 家族の本人に対する関わり方 Vol.1 (ファシリテーター用マニュアル)
近藤あゆみ	家族	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 上手なコミュニケーションで本人を治療につなげる 家族の本人に対する関わり方 Vol.1 (家族向け教材)
近藤あゆみ	ファシリテーター	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 長期的な回復を支え、再発・再使用に備える 家族の本人に対する関わり方 Vol.2 (ファシリテーター用マニュアル)
近藤あゆみ	家族	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 長期的な回復を支え、再発・再使用に備える 家族の本人に対する関わり方 Vol.2 (家族向け教材)
近藤あゆみ	ファシリテーター	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 家族のセルフケア 家族のセルフケア Vol.1 (ファシリテーター用マニュアル)
近藤あゆみ	家族	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 家族のセルフケア 家族のセルフケア Vol.1 (家族向け教材)

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版 年	ページ
松本俊彦	II. 精神疾患についての説明. 物質関連障害	林 直樹	専門医のための精神科臨床リュミエール9 精神科診療における説明とその根拠	中山書店	東京	2009	70-85
松本俊彦	認知行動療法に準拠した集団精神療法の実際	日本精神科救急学会教育研修会	JAEP 教育研修会テキスト Vol. 1	日本精神科救急学会	東京	2009	62-78
松本俊彦	6. 指定入院医療機関における物質関連障害治療プログラム～プログラムの構造と	平林直次	平成20年度国立病院機構共同臨床研究 指定入院医療機関 治療プログラム	国立精神・神経センター病院	東京	2009	15-30

	その実際～		集				
松本俊彦	依存症	伊藤利之 ほか	リハビリテーション ン事典	中央法規出 版	東京	2009	145-146
松本俊彦	苛酷な日常を「生き延 びる」ために子どもた ちは薬物や自傷に向 っていることがある	坂根健二	学校の危機管理最 前線	教育開発研 究所	東京	2009	198
松本俊彦	8-2-9 薬物依存	桑原 寛 ほか	精神保健福祉白書 2010 版	中央法規出 版	東京	2009	143
和田 清、 尾崎 茂、 近藤あゆ み	Ⅱ章 物質依存の疫 学と法律 物質乱用 の疫学	編集：福居 顕二	脳とこころのプラ イマリケア 8 依存	シナジー	東京	2011	20-32
松本俊彦	VII章 思春期における 心の問題—薬物乱 用	日野原重 明・宮岡 等	脳とこころのプラ イマリケア 4	シナジー	東京	2010	448-458
松本俊彦	精神科医療 薬物依 存.	精神保健 福祉白書 編集委員 会	精神保健福祉白書 2011 年版 岐路に立 つ精神保健福祉医 療—新たな構築を めざして.	中央法規出 版	東京	2010	153

雑誌

発表者名	論文タイトル名	発表紙名	巻	ページ	出版 年
和田 清	わが国の一般人口における薬物乱用・依存の 実態	公衆衛生	73	807-812	2009
宮永 耕	自助グループ（第Ⅱ部 各論-2 精神障害別 11. 物質依存性障害）	精神科治療学 増 刊号「精神療法・ 心理社会療法ガイ ドライン」	24	249-251	2009
嶋根卓也、和田清、 三島健一、藤原道弘	危険飲酒行動と薬物乱用リスクグループと の関連について—大学新入生を対象とした 調査より—	日本アルコール・ 薬物医学会雑誌	44	649-658	2009
嶋根卓也	定時制高校に在籍する思春期のこころ	現在のエスプリ	509	39-52	2009
嶋根卓也	思春期における飲酒・薬物乱用の実態と予防 について	小児科医のための 思春期医学・医療	50	1923-192 9	2009
松本俊彦、今村扶 美、小林桜児、千 葉泰彦、和田 清	少年鑑別所における薬物再乱用防止教育ツ ールの開発とその効果—若年者用自習ワー クブック「SMARPP-Jr.」—	日本アルコール・ 薬物医学会雑誌	44	121-138	2009
松本俊彦、今村扶 美、平林直次	医療観察法における覚せい剤依存の心理社 会的治療	最新精神医学	14	163-170	2009
松本俊彦、和田	薬物依存症の治療とリハビリテーション	大阪保険医雑誌	509	25-29	2009

清					
松本俊彦, 今村扶美	第2部 申し立てと鑑定 7. 医療観察法と物質使用障害	臨床精神医学	38	577-581	2009
松本俊彦	薬物依存症の治療: 覚せい剤依存に対する統合的外来治療プログラムの試み	日本アルコール精神医学会雑誌	16	11-18	2009
松本俊彦, 今村扶美	物質依存を併存する触法精神障害者の治療の現状と課題	精神科治療学	24	1061-1067	2009
松本俊彦	第II部 各論 2, 精神障害別 11) 物質依存性障害 1. 認知行動療法	精神科治療学	24 増刊号	241-243	2009
松本俊彦	薬物依存の寛解	精神科	15	453-458	2009
Kiyoshi Wada	The history and current state of drug abuse in Japan	Annals of the New York Academy of Sciences	1216	62-72	2011
和田 清	精神作用物質使用障害の今日の実態	精神神経学雑誌	112	651-660	2010
小林桜児, 松本俊彦, 千葉泰彦, 今村扶美, 森田展彰, 和田 清	少年鑑別所入所者を対象とした日本語版 SOCRATES (Stages of Change Readiness and Treatment Eagerness Scale) の因子構造と妥当性の検討.	日本アルコール・薬物医学会誌	45	437-451	2010
今村扶美, 松本俊彦, 小林桜児, 平林直次, 和田 清	国立精神・神経医療研究センター病院における物質使用障害治療プログラムの開発と効果測定.	日本アルコール・薬物医学会誌	45	452-463	2010
松本俊彦, 千葉泰彦, 今村扶美, 小林桜児, 和田 清	少年鑑別所における自習ワークブックを用いた薬物再乱用防止プログラムの試み~重症度による介入効果の相違に関する検討.	精神医学	52	1161-1171	2010
松本俊彦	物質使用と暴力および自殺行動との関係.	日本アルコール・薬物医学会雑誌	45	13-24	2010
松本俊彦	アディクション—精神科医が「否認」する「否認の病」.	精神科治療学	25	565-571	2010
松本俊彦	アルコール・薬物使用障害の心理社会的治療.	医学のあゆみ	233	1143-1147	2010
松本俊彦	DSM-5における物質関連障害.	精神科治療学	25	1077-1081	2010
松本俊彦, 小林桜児	精神作用物質使用障害の心理社会的治療: 再乱用防止のための認知行動療法を中心に.	精神神経学雑誌	112	672-676	2010
松本俊彦	アルコール・薬物依存症と摂食障害との併存例をめぐって.	精神神経学雑誌	112	766-773	2010
松本俊彦	第2章 精神作用物質使用による精神および行動の障害 4. 覚せい剤依存の心理社会的治療.	精神科治療学「今日の精神科治療ガイドライン」	25 増刊	68-71	2010
松本俊彦	物質依存症—治療戦略に役立つ生活歴、現病歴、家族関係.	精神科治療学	25	1489-1496	2010
松本俊彦	覚せい剤依存症の精神療法—患者と家族に対する初回面接の工夫—.	臨床精神医学	39	1583-1587	2010
松本俊彦	マトリックスモデルとは何か? 治療プログ	龍谷大学矯正・保	7	63-75	2010

	ラムの可能性と限界	護研究センター研究年報			
嶋根卓也	思春期の薬物乱用の現状と課題	思春期学	28	267-272	2010
嶋根卓也	薬物依存症－薬物依存症のトレンド－薬物依存症の予防・防止の社会的取り組み	日本臨牀	68	1531-1535	2010
森田展彰、嶋根卓也	薬物依存症－薬物依存症のトレンド－幻覚剤	日本臨牀	68	1486-1493	2010
嶋根卓也	アディクション 薬物乱用・依存	Journal of Integrated Medicine	20	356-359	2010
嶋根卓也	思春期における薬物乱用の実態と予防	思春期学	29	13-18	2011
宮永 耕	薬物依存者の回復における社会福祉援助の役割	龍谷大学 矯正・保護研究センター研究年報 第号	7	99-111	2010
山口みほ	薬物依存症者の回復支援に関わる制度的社会資源の活用実態と課題	医療社会福祉研究	19		2011

平成21～22年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

薬物乱用・依存の実態把握と
再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究
(H21-医薬-一般-028)

平成21～22年度
総合研究報告書

研究代表者：和田 清（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）

2011年3月31日 発行

